

地域の安全・安心への取り組み(十勝地域)

【音更町】押しボタン式の信号機が設置

昨年2024年5月16日に十勝川温泉から音更町市街地へ向かう道道のトンネルを抜けたところで、ひき逃げ事故が発生しました。信号機のない横断歩道を渡っていた男子中学生がはねられ、重傷を負う事故でした。地元の公明党・小沢町議から相談を受けて、すぐに現場調査をしました。

過去にも歩行者がひかれる事故があったことから、現場周辺の宝来地区連合町内会(約1,400世帯)が、10数年にも渡り、要望活動を続けてきましたが、信号機設置などの安全対策がなされず…。

昨年の現場調査の際も地区連の方から、「事故が起きても何もしてくれないのか!」と強くお叱りを受け、何としても設置されるよう働きかけます!と決意しました。

現場調査を終え、すぐに関係機関へ手押し式信号機の設置を強く要望。地元の地区連の皆様からも熱心に要望し続けていたことも功を奏し、今年の9月に「10月初旬に手押し式信号機の設置が決定」と連絡があり設置となりました。今後もコツコツと道民の皆様のお役に立つ仕事をやり抜いてまいります。



2024年5月24日に調査した際の写真です



2025年10月21日

交差点を改良し
安全対策を実施
幕別町

幕別町札内桂町を通る道道・更別幕別線と町道との交差点でこのほど、交差点の改良工事が行われ、住民から喜ばれている【写真】。この交差点は、道道に架かるアーチ状の橋を上って下りる車からの見通しが悪く、出会い頭の接触事故がたびたび発生。そのはずみで、民家に突っ込むケース



もあつた。町立小中学校の通学路でもあり、長年にわ

たり道警察などに地域から要望が出されていたが、進展がなかった。

真利子町議は、田中英樹道議と連携して関係機関にあらためて要望。その結果、歩道縁石のかさ上げやドライバ―の視認性を高めるラインの引き直しなどが行われた。

2025年10月11日 公明新聞より



田中ひでき道政通信の発送先をご紹介します!

ご友人のお名前・ご住所をFAX(0154-65-8064)またはQRコードからお送りください。住所変更された方もこちらのFAXまたはQRコードからお送りください。

お名前	ご住所 ※アパート名、マンション名もご記入ください
フリガナ	〒



▲スマホの方はコチラ

道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

北海道議会議員 田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064

田中ひでき
オフィシャルwebサイト



制作/榛新生

北海道議会議員

田中ひでき 道政通信



北海道議会議員 田中英樹 道政報告通信紙 Vol.32 2025年11月発行

釧路湿原周辺の自然と希少動植物を守る!!

令和7年第3回 北海道議会定例会

一般質問で道の取組を質す!

令和7年9月19日(要旨)



釧路自然保護協会より提供(使用許可承諾済み)

再生可能エネルギーと環境保護について

田中ひできの質問(要旨)

釧路湿原周辺でメガソーラーなどの大規模太陽光発電施設の建設が希少な野生動植物の生育生息地が脅かされる事態である。**道としてタンチョウなどを保護する明確な強いメッセージの発信が必要**である。市町村に寄り添うべき。「種の保存法」などの法改正について釧路市などと連携をして国へ要望すべきでは。



鈴木知事答弁(要旨)

道としては、本道の豊かな自然の象徴である**タンチョウなどの希少種の保護は極めて重要**と考えており、釧路市や周辺自治体をはじめ地域の要望や地域の意見の把握に努め、国や市町村、庁内関係部局が連携しながら環境、景観、防災など地域と共生した施策が適切に行われるよう取組みを進めてまいります。



キタサンショウウオの天然記念物指定について

田中ひできの質問(要旨)

釧路市・標茶町・上士幌町の3市町においては既に地域指定天然記念物として保護されていますが、同様に分布が確認されている釧路町や鶴居村などでは未だ指定がなされておらず、地域ごとにはばらつきが生じております。道内におけるキタサンショウウオの生息地を対象とした広域的かつ統一的な保護措置を講じるためにも、また関係自治体が複数にまたがることも踏まえると、**北海道指定天然記念物とすることが必要**と考えますが、教育長の所見を伺います。



教育長答弁(要旨)

キタサンショウウオの取扱いにつきましては、保存と活用に加え、生息環境の保全について、地権者をはじめとした地元の方々のご理解のもと、検討を進めていただきたいと考えておりますが、道教委といたしましては、地元自治体における検討状況を注視し、必要な助言を行いますとともに、**専門家の方々のご意見を踏まえながら、適切に対応**してまいります。



佐藤衆院議員とともに猛禽類医学研究所へ



佐藤代表に環境省の見解を報告する
佐藤衆院議員（左）

北斗で建設のメガソーラー

環境省の釧路湿原野生生物保護センターの近隣で大阪の事業者がメガソーラーの工事を進めている。周辺には国の特別天然記念物タンチョウやオシロワシなど希少な猛禽野生動物植物種に対する影響を懸念している。佐藤代表は、メガソーラー開発などによる希少な猛禽野生動物植物種に対する影響を懸念している。佐藤代表は、メガソーラー開発などによる希少な猛禽野生動物植物種に対する影響を懸念している。

生息地保全へ法改定を 環境省釧路訪問へ 猛禽類医学研究所 齊藤代表要望書

佐藤衆院議員が見解を報告

釧路湿原に近い釧路市北斗で建設が進む大規模太陽光発電（メガソーラー）施設に関して、猛禽類医学研究所の齊藤慶輔代表が環境省へ希少野生動物の保全に関し、絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律（種の保存法）に「生息地の保全」を明文化してほしい」と改定を要望していた件について、公明党の佐藤英道衆院議員（党国対委員長・北海道本部代表）が30日、環境省の見解を同所で報告した。「環境省からは直接釧路市に訪問する話をもらった」と伝えた。

影響を防ぐためには「種の保存法」を個体に対してだけでなく、その生息地もしっかり守ることができるよう改定する必要があるとして、環境省に対しての要望書を佐藤衆院議員に託した。この日、佐藤衆院議員と道議会の環境生活常任委員会委員長の田中英樹道議ら公明党市議会議員が同所を訪れた。佐藤衆院議員は「7日に猛禽類医学研究所で佐藤代表に会いさまざまな要望をもらった。19日には環境省に齊藤代表と釧路市の要望を直接話した。その際に環境省の担当者から直接釧路市に赴いてほしい、鶴間秀典市長をはじめ、齊藤代表など関係者に直接会って話を聞いてほしい」と訴えた」と述べた。報告を受けた齊藤代表は「大変ありがたい。直接環境省に出向かれて、私の意見、問題だと思っていることを直接伝えてもらったことに非常に感謝している」と述べ、環境省の方が直接足を運んで現地、そして私の意見を直接聞いてもらえるのはありがたいと思うので、しっかりとその機会を生かしたい」と語った。（小西 晴）

2025年8月31日 釧路新聞より

希少動植物を守るため浅尾環境大臣へ要望!!

令和7年10月1日

浅尾環境相（中央右）に要望する佐藤氏（左隣）ら＝1日 環境省



再エネ導入、地域共生で 生態系保全する仕組み必要

2025年10月2日 公明新聞より

佐藤氏は北海道の釧路地域をはじめ、各地の太陽光発電施設の建設などを巡って懸念や課題が顕在化し、「特に希少な野生動物植物の生態系が脅かされる事態は問題だ」と指摘。「再生エネの導入拡大は地域との共生が大前提で、適切な環境配慮の下、地域理解を促進することが不可欠だ」と強調した。

環境相に公明が要請

の徹底など生態系を適切に保全する仕組みづくりの検討や、種の保存法などの関係法令の運用・実効性を向上させるための不断の見直しを要望。自治体への相談体制の強化や関係省庁の緊密な連携、適正な事業規律の確保に向けた事業者らに対する厳格な対応も求めた。

浅尾環境相は「種の保存法のあり方も含めて、今後しっかりと検討したい」と応じた。

地域課題解決へ 一般質問をしました!

釧路空港の国際化について

田中ひできの質問(要旨)

国の訪日外国人観光客数6,000万人の目標達成には北海道の果たす役割が非常に重要であります。今後さらにインバウンドを増加させていくには、**道東の釧路空港への直行便などが不可欠であり、釧路空港の国際化に向けて、国際線の誘致活動やアウトバウンド需要創出など積極的な取組みをすべき**と考えますが、所見を伺います。



交通企画監答弁(要旨)

国際線の運航は、地域経済の活性化を図る上で、重要な役割を果たすものと認識しており、道としては、**北海道エアポートはもとより、地元自治体などとも緊密に連携しながら、航空会社への働きかけを強化するとともに、双方向の需要創出なども推進し、地方空港における国際線の誘致に取り組んでまいります。**

釧路圏道立広域公園について

田中ひできの質問(要旨)

地元からは、一日も早く公園整備をしてほしいという声が日に日に高まっており、多くの期待が寄せられております。地域の活性化や住民の憩いの場として、公園整備が重要な役割を果たすことを踏まえ、**できる限り早く民間事業者への公募を始めることをお願いする**とともに、今後の取組についてスケジュールも含めて、伺います。



鈴木知事答弁(要旨)

本年度は、地域の皆様のご意見を伺いながら、季節や天候に左右されず遊ぶことができる屋内遊戯施設の規模などの検討を進めるとともに、官民連携による整備・運営に関する意見・提案の収集や民間企業の方々が参画しやすい条件等を確認するため、今月からサウンディング調査を開始したところであります。引き続き、パークPFIなどの官民連携による事業手法について、具体的な検討を進めるとともに、**年度内を目途に民間事業者の方々の参入条件を定めるなどして、令和8年度からの事業着手に向け、着実に取り組んでまいります。**



釧路市の鉄道高架事業について

田中ひできの質問(要旨)

釧路市では、都心部の活性化に向け、現在、市議会において鉄道高架事業の駅周辺に係る事業案について検討を進め、これまで市民に対する市民アンケートなど駅下道路の形状について取りまとめていると承知をしております。



事業主体である北海道として、これまでの検討状況、また今後どのように取り組んでいくのか、所見を伺います。

建設部長答弁(要旨)

道としては、これまで鉄道高架事業実施に向け、駅周辺道路の交通量調査や鉄道施設の配置の検討などを行ってきたところであり、引き続き、**駅周辺整備に関する釧路市のまちづくり計画見直しに向けた議論の動向を注視してまいります。**

